

### プロジェクトレポート～2024年度～

最終年となる2024年度は、専門家派遣を2回（8月・12月）、訪日研修を1回（10月）実施しました。

#### ■第5回専門家派遣（2024年8月）

PTTC教官とPTTC附属小学校教員は、クメール語の模擬授業を3回開催しました。授業後の意見交換会では、「児童が深く考えるためには、導入部分を改善すべき」など、より児童に焦点をあてて授業観察をする様子や、児童を中心として授業内容を振り返る場面が確認できました。



《クメール語の模擬授業》



《模擬授業後の意見交換会》



#### ■第6回専門家派遣（2024年12月）

最後の専門家派遣では最終勉強会にて成果発表（模擬授業・3年間の振り返り）を行いました。最終勉強会には教育局、コンポントム州教育局、近隣の小学校の先生を招待し、この事業の成果を見ていただきました。教育局から、カンボジア全国の教員が本事業の資料を見れるようにしたいので、資料を提供してほしいとの依頼がありました。この事業を通してコンポントム州のPTTC教官、及びPTTC附属小学校の教員と一緒に考えてきたIBLの知識やその実践方法が、将来的にカンボジア国内に広がるのが期待されます。



《最終勉強会での模擬授業》



《最終勉強会の様子》



《セレモニーの様子》

#### ■第3回訪日研修（2024年10月）

PTTCの教官10名、PTTC附属小学校の教員2名が来日し、神戸市の小学校4校と兵庫県内の小学校1校で授業見学・施設見学・日本の教員らとの意見交換会を行いました。また、PTTC教官によるカンボジアの文化紹介が各小学校で行われ、児童たちは初めてみるお菓子や伝統衣装などに興味津々の様子で、児童からたくさんの質問が出ました。



《意見交換会》



《セミナー》



《日本の文化体験》

#### さいごに

「カンボジア国コンポントム小学校教員養成校（PTTC）における学生に対する指導力向上支援事業」では、

1. PTTC教官がIBLを基盤とした教授ノウハウを修得する
2. 小学校のニーズをふまえて、教授ノウハウを自立発展させる
3. IBL実現への意欲がPTTC全体で向上する

の3つを目標に取り組んできました。

カンボジアの小学校では暗記型の授業が一般的ですが、PTTC教官、及びPTTC附属小学校の教員は、専門家の助言を受け、特に暗記が必要とされIBL導入が難しいと考えられていた文系科目にも積極的に取り組み、その指導力を向上させました。型にはまったIBLの実践ではなく、児童の様子や理解度に沿って学びを発展させるようなIBLの授業を作ることが出来るようになりました。その結果、85%の教官が「IBLの理解度が高い」と判定され、また、70%の教官が「実践力が期待できる」レベルに達しました。

PTTC教官、及びPTTC附属小学校の教員が、今後も、教育の質を高めていく人材として活躍し、カンボジア国の教育に貢献していくことを願っています。